

ソフィ -グルカンの経口投与によるTh1誘導能

(株)ソフィ・研究開発部¹⁾, 高知大学医学部外科学²⁾, 環境保健学³⁾

高本美佐¹⁾, 長瀧 充¹⁾, 矢野弘子¹⁾, スジジウイックラマシンハ³⁾, 渡部嘉哉¹⁾,
溝渕俊二²⁾, 吾妻 健³⁾

ソフィ -グルカンは *Aureobasidium pullulans* が産生する -1,3-1,6-グルカンを主成分としている。我々はマウスに本品の経口投与を行いその効果を検討した。その結果、血清中のIFN- γ 上昇、つまりTh1誘導能が認められた。そこで、Th1優位な状態で治癒することが知られているリーシュマニア感染症に対する効果を検討した。ソフィ -グルカンを感染2週間前から実験終了時まで投与し、感染実験を行ったところ、感染に伴う腫脹が有意に抑制された。さらに認識機序を解析する目的でTLR4に焦点を絞り解析した。TLR4に点変異が生じてリガンドに反応性を示さないC3H/HeJマウスとその遺伝的背景であるC3H/HeNマウスに感染実験を行ったところ、投与を行ったC3H/HeNマウスの腫脹のみ抑制された。つまり、ソフィ -グルカンによる免疫系の活性にはTLR4が関与していることが示唆された。